

役員・報酬体系について

役員

令和3年6月末現在

理事長(代表理事) 北村 圭一	常勤理事 相原 和幸	非常勤理事 佐野 友保(※1)	常勤監事 猪俣 隆司
専務理事(代表理事) 青木 文雄	常勤理事 足立 昌弘	非常勤理事 草山 美博(※1)	非常勤監事 山梨 大輔(※2)
常務理事(代表理事) 森谷 真人	常勤理事 渡邊 一紀	非常勤理事 藤野 俊樹(※1)	非常勤監事 横溝 勉

※1の理事については、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事であります。

※2の監事については、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事であります。

報酬体系について

1 対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、理事及び監事をいいます。対象役員に対する報酬等は、職務執行の対価として支払う「基本報酬」及び「賞与」、在任期間中の職務執行及び特別功勞の対価として退任時に支払う「退職慰労金」で構成されております。

(1) 報酬体系の概要

【基本報酬及び賞与】

非常勤を含む全役員の基本報酬及び賞与につきましては、総代会において、理事全員及び監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しております。

そのうえで、各理事の基本報酬額につきましては役位や在任年数等を、各理事の賞与額については前年度の業績等をそれぞれ勘案し、当金庫の理事会において決定しております。また、各監事の基本報酬額及び賞与額につきましては、監事の協議により決定しております。

【退職慰労金】

退職慰労金につきましては、在任期間中に每期引当金を計上し、退任時に総代会で承認を得た後、支払っております。

なお、当金庫では、全役員に適用される退職慰労金の支払いに関して、計算方法等の事項を規程で定めております。

(2) 令和2年度における対象役員に対する報酬等の支払総額

(単位：百万円)

区分	支払総額
対象役員に対する報酬等	257

注1: 対象役員に該当する理事は13名、監事は3名です(期中退任者および前期退任者で当年度中に退職慰労金を支払った者を含む)。

注2: 左記の内訳は、「基本報酬」131百万円、「賞与」25百万円、「退職慰労金」101百万円となっております。なお、「賞与」は当年度中に支払った賞与のうち当年度に帰属する部分の金額(過年度に繰り入れた引当金を除く)と当年度に繰り入れた役員賞与引当金の合計額です。

「退職慰労金」は、当年度中に支払った退職慰労金(過年度に繰り入れた引当金を除く)と当年度に繰り入れた役員退職慰労引当金の合計額です。

(3) その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき、報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」(平成24年3月29日付金融庁告示第22号)第2条第1項第3号及び第6号並びに第3条第1項第3号及び第6号に該当する事項はありませんでした。

2 対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の職員、当金庫の主要な連結子法人等の役職員であって、対象役員(非常勤役員を除く)が受ける報酬等と同額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務及び財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。

なお、令和2年度において、対象職員等に該当する者はいませんでした。

注1: 「主要な連結子法人等」とは、当金庫の連結子法人等のうち、当金庫の連結総資産に対して2%以上の資産を有する会社等をいいます。

なお、令和2年度においては、該当する会社はありませんでした。

注2: 「同等額」は、令和2年度に対象役員(非常勤役員を除く)に支払った報酬等の平均額としております。

注3: 令和2年度において対象役員(非常勤役員を除く)が受ける報酬等と同額以上の報酬等を受ける者はいませんでした。